

2017年7月例会

パスカル・ロジェ ピアノリサイタル

感想集



♪♪♪プログラム♪♪♪

サティ：ジムノペディ第1番

グノシエンヌ第3番

太った木の人形のスケッチとかたらい

ラヴェル：ソナチネ

プーランク：ナゼールの夜会

サティ：ひからびた胎児

ドビュッシー：前奏曲集 第1集

♪♪♪アンコール曲♪♪♪

♪グノシエンヌ 第5番（サティ）

♪ベルガマス組曲より 月の光（ドビュッシー）

♪♪♪例会評価♪♪♪

会員数：369名（新入会32名）

例会参加者：318名（86.0%）

評価投票数：193名（60.6%）

評価点：99.4点

サークル数：47サークル

音が独特でした。フランスのエスプリでしょうか。音と音の間合いはパスカル・ロジェの芸風が聴きとれます。米子で彼の演奏が聴けてよかった。大変素晴しかった。ブラボー本当にすごい演奏。ドビュッシーのプレリュードは圧巻。こんな演奏は滅多に聴けません。米子市民は幸せ。聴衆のマナーも素晴しかった。

今回の例会、フランス物は大好きで、特にラヴェルのソナチネを楽しみにしていました。NHK-FMの日曜のクラシック番組「きらクラ」での「勝手にタイトル選手権」的にいうと、この曲は「第1楽章 言い出せなくて 第2楽章 平静なふり 第3楽章 止まらぬ涙」って各楽章に表題を付けたいと思っていて、「忍ぶれど色に出でにけり〜」ってな意味に自分では解釈しています。（とくに第2楽章メヌエットの最後の「お辞儀」は「思わず出た本音」っぽいと思う）

さて例会当日です。パスカル・ロジェのピアノ、音色もフレーズもともにニュアンスが信じられないくらい豊富で、もうなんていうか脳みそがパンク寸前でした。例会が終わって「いままでサティは聞き流すもんだと思ってました。僕が間違っていました」と言った会員の人がいたくらい中身の詰まったサティ。そしてラヴェルもドビュッシーもでした。

ジムノペディが驚異的に複雑で、グノシエンも素晴らしく素っ気無くない表現、ラヴェルのソナチネは濃厚（くどいというのとは違う）すぎて、最後のプーランクは頭を休めるために寝ました。普通中身が乏しいとき寝ることが多いけど逆で、ほんとは逃げ出したかったくらい、頭が「ビジー状態」になっていました。

ジムノペディ1番は僕の唯一弾けるピアノ曲で（初めてペダルの操作を知りました）、ピアノ弾ける人が左側の座席になぜ座りたがるのかわかりました。ほんとに手と爪先が気になるものなのですね。1音1音やフレーズをぞんざいにする演奏は嫌いだけど、ロジェのピアノはその逆。日本人特有の丁寧さ律儀さとも違う、とにかくフレーズのニュアンスが豊富（同じ音符のはずが、一音一音の長さが微妙に大小ある）で、そしてどこまでも頭脳で制御してるように感じました。

演奏者は音を通して感情を表現する。そんな演奏があります。僕らは音の向うに感情を感じ、それを追っていつている。それが普通の演奏の聴き方のように思います。ところがロジェの演奏は、あくまで頭脳で音を鳴らしている。聴き手は音を1音1音を追っていかなくてはならない。そんな様に感じました。物凄く疲れる演奏でした、いい意味で。ホントにいい意味で。

事前に僕が考えていたソナチネに込められたストーリーは吹き飛んで、ただ純粹に“音楽”がそこにあるように思いました。

後半のドビュッシーの映像をしっかりと受け止めるには、余力が残っていませんでしたが、プログラム全体でフランス音楽の流れを表しているという構成は素晴らしかったと思います。その点をしっかりと受け止められた会員の方の感想が楽しみです。

付け足しですが、サティのジムノペディで用いられた教会旋法（音階）は、次回例会のラヴェルの弦楽四重奏曲にも取り入れられているので、素晴らしい予習になっていると思います。

パスカル・ロジェという演奏者を聞いて?!と思いました。60年前の「河は呼んでいる」のテーマのピアニストがパスカル・ロジェだったからです。パスカルさんのピアノ、フランス人らしい、やさしく調和あふれた演奏です。巧みな、そして会場を包みこむようなタッチ、パスカル・ロジェワールドに引き込まれました。

今まで幾つものコンサートを聞きましたが、今回デモCDをもらっていたにも関わらず2曲ジムノペディと亜麻色の髪の乙女しか知っている曲がなく、サティの曲を愛している方なんだなと職人的な打鍵のすばらしさに、感銘を受けました。アンコールの2曲すんなりと弾かれすばらしかったです。

パスカル・ロジェさんが米子まで来て、真剣な演奏だったので良かった。

さすがロジェ氏、湧き出るピアノの音、その品の良さ、思わずウットリ聴きほれて・・・
1音ずつにフランスの香りがする程に久しぶりにフランス体感した気がします。
ロジェ氏の間取り方は素晴らしい!!
音楽性のすごさ!!!



プレゼントは弓浜紆のレターラック



終演後、大型ポスターをバックに記念写真

一言感想より

- ・美しい音をたっぷりと味わいました。
- ・やっぱりすごい美しい音色
- ・サティ良かったです。月の光も。
- ・アンコールのサティ、グノシエン又美しかった。
- ・一音一音に新しい発見あり Good、月の光最高でした。
- ・きれいな音でした。(小5年)
- ・フェニックスホールで聴けなかったので米子で聴きました。Bravo!
- ・フランスのピアノがきけてよかった。
- ・とってもステキでした。キラキラでした。
- ・ニュアンスが豊富すぎ受けとめ切れず、脳みそがパンクするかと思いました。いい意味でもの凄く疲れた!!
- ・感動しました。
- ・月の光はこの世のすばらしさを表現していた。サティの曲も良かったです。
- ・やさしかったし、あたたかかった。
- ・とても良かったです。やさしい音でステキでした。
- ・“月の光”練習します!サティに初めて感動した。
- ・やわらかい音でした。
- ・Bravo♡
- ・埼玉から来ました。
- ・フランスの薫りあふれました。
- ・とても素敵でした。
- ・良かったです(小3年)



交流会にて。ロジエさん・奥様を囲んで

今回の例会は私たちが担当しました。
アクエリアス、うさぎ、円舞曲、小犬、シンフォニー、せせらぎ、
長谷川、中島、パパゲーナ、ふゆいちご